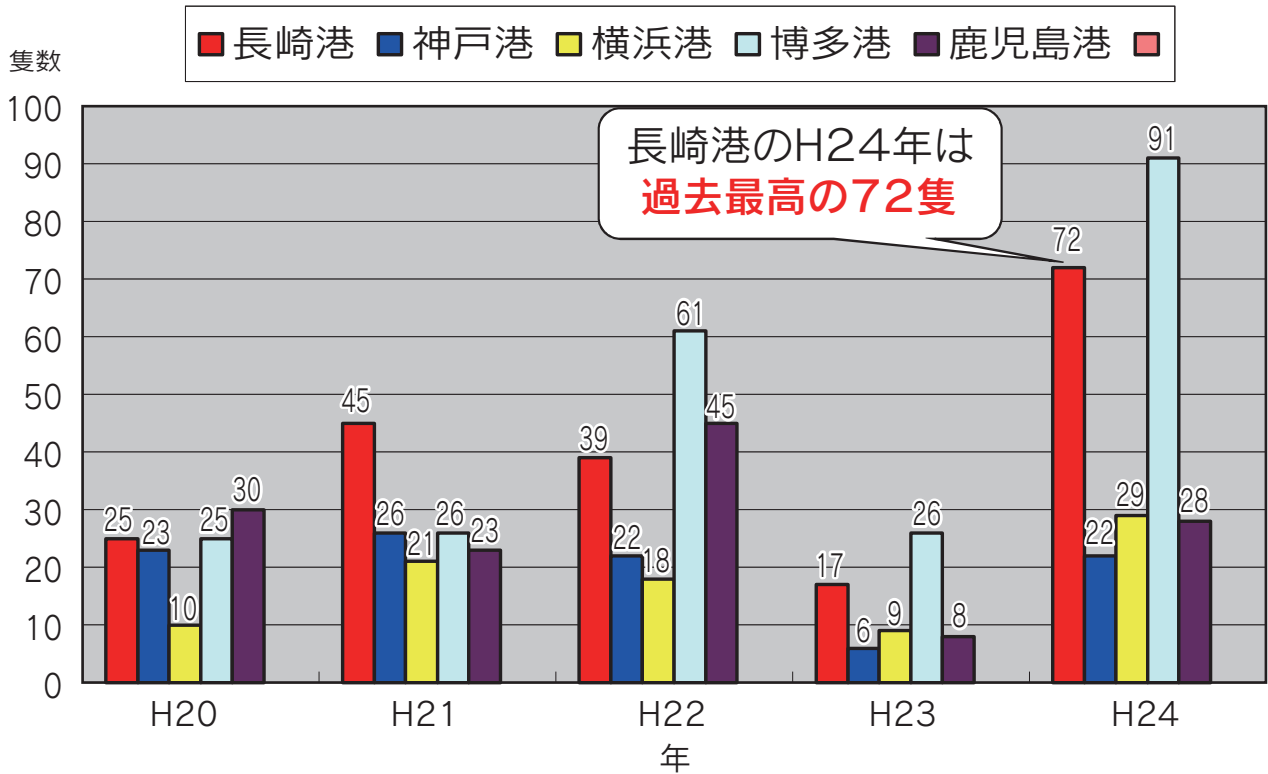


# ● みなとづくり

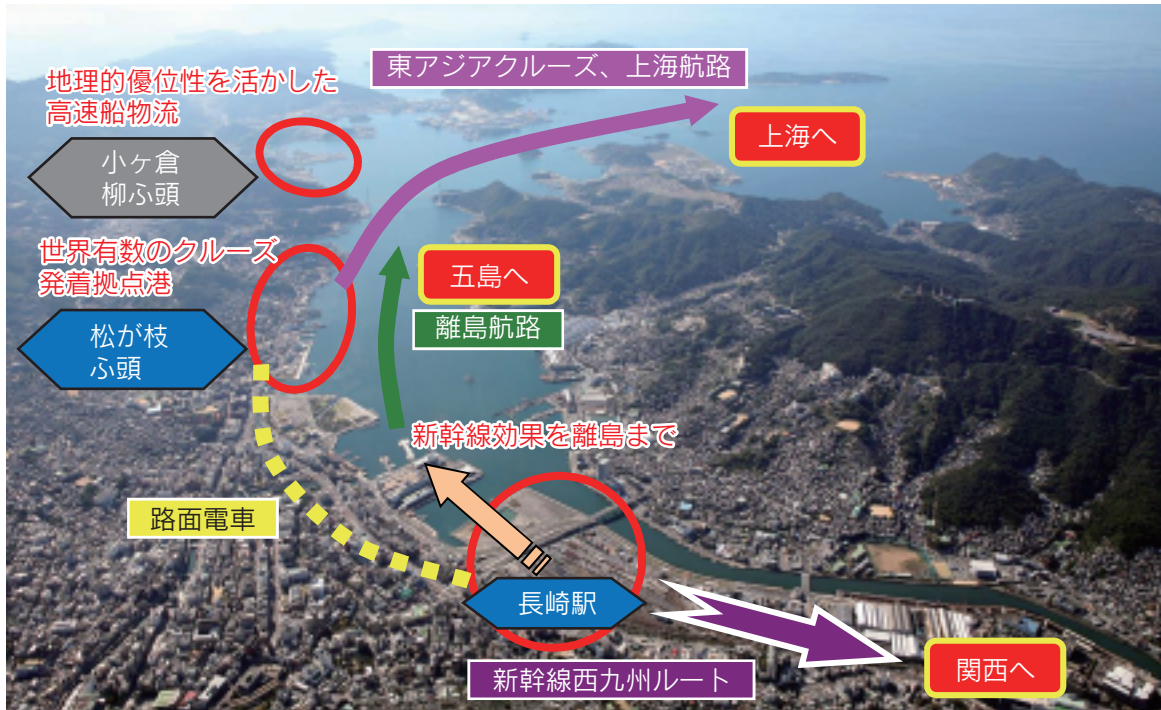
## 1 クルーズ観光の拡大を図り長崎の経済を活性化 問合せ先 港湾課

長崎港は、近年、観光産業への経済波及効果が期待出来る大型クルーズ客船の入港が増加しています。このため、平成25年度は、大型クルーズ客船の更なる寄港数の増加に対応できるよう、松が枝ふ頭の拡張を実施することなどを考慮した港湾計画の改訂を目指します。

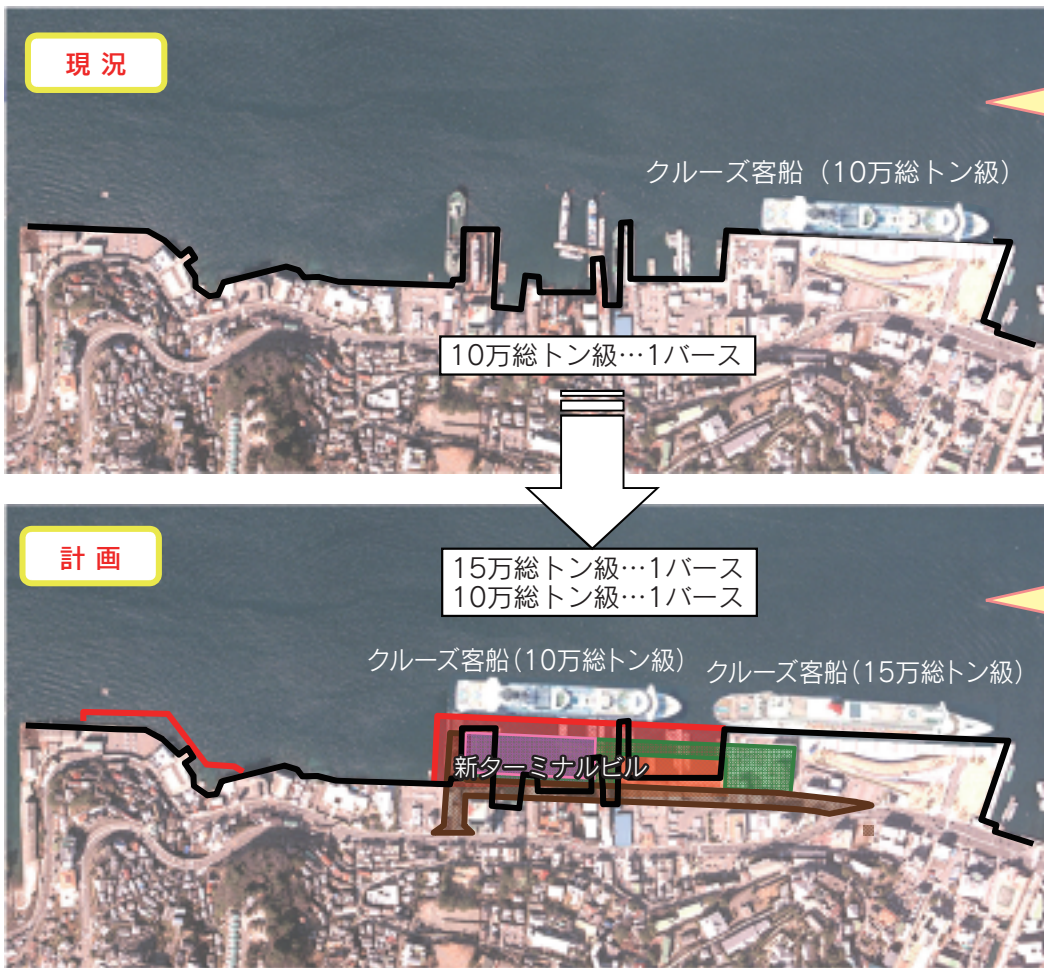
### ■ 主要観光港の外国籍クルーズ客船入港実績



長崎港港湾計画の改訂(イメージ)



松が枝心頭拡張



大型クルーズ船を係留する心頭が1箇所のみであり、**2隻同時係留が出来ない**

大型クルーズ船の**2隻同時係留が可能となり**、観光による**大きな経済波及効果**が期待できる

平成39年には、長崎港へのクルーズ客船寄港数を現在の**2倍(約140隻)**とすることを目指します。

## 2 離島・半島等の暮らしを支える地域交通の確保

問合せ先 港湾課

離島と本土等を結ぶ定期航路の安定的な海上運輸活動を支え、安全・効率的で利便性が高いみなと整備を進めます。

### 瀬戸港の定期船ふ頭整備(平成24年度完成)



老朽化した施設を更新し、**効率的で安定した**輸送手段を確保

### 厳原港のふ頭再編(旅客ふ頭の整備)



ふ頭再編整備による旅客船利用者の**満足度向上**を目指します。

#### 事業概要

事業主体：長崎県・国土交通省・対馬市  
事業期間：平成24年度～平成29年度完成目標  
総事業費：約40億円

近年、韓国人観光客が**著しく増加**している。  
※平成24年度は**過去最高**の約15万人

観光客で賑わいを見せるふ頭

